

平成18年 6月 23日

関東各都県教育委員会教育長 様
各区市町村教育委員会教育長 様
各幼・小・中・盲・聾・養護学校 様
関 係 各 位

NPO法人全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会長 千葉 俊治
埼玉県国際理解教育研究会長 増田 陽水
第17回関東ブロック・埼玉大会実行委員長 荒木 拓一

平成18年度 第17回 関東ブロック埼玉大会

1, 大会テーマ 「世界の中の日本、学び合う国際理解教育」

2, 期 日 平成18年8月23日(水)

3, 会 場 国立女性教育会館(独立行政法人)「ヌエック」
比企郡嵐山町大字菅谷728

Tel 0493-62-6711

4, 主 催 NPO 法人全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会
関東ブロック全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会
埼玉県国際理解教育研究会

5, 後 援(申請中) (財)海外子女教育振興財団 埼玉県教育委員会
さいたま市教育委員会 嵐山町教育委員会
神奈川県教育委員会 山梨県教育委員会
千葉県教育委員会 群馬県教育委員会
茨城県教育委員会 栃木県教育委員会
埼玉県小・中学校長会 埼玉県国際交流協会
埼玉県教育公務員弘済会

6, 日 程

9:15	40	10:05	25	40	12:00	13:15	14:15	14:30	16:00
受付	全体会	基調 提案	休 憩	分科会	昼食	分科会	休憩 移動	記念講演	

7, 基調提案

21世紀においては、人・物・資本・情報が今までの以上の速さと量で移動し、その形態も多様化、複雑化しています。今後も、世界的規模の相互依存と社会の国際化は、一層進展していくことが予想されます。

地球環境、エネルギー・資源、人口、平和、人権などの地球規模の諸問題は、一国のみで解決できるものではなく、国際社会全体が一致して取り組むべき問題です。我が国もまた、世界の中の日本という視点を持ち、国際社会の一員としての責任を自覚し、これら問題の解決に積極的に参画し貢献することが一層重要になってきています。

一方、日本の国内においても、多くの人々を外国から受け入れるようになってきています。日本にいながらにしても、異なる文化や生活習慣をもつ外国の人々と、日常的に接する機会が多くなり、地域においてはそれらの人々と相互に理解し協力し合いながら生活することが求められるようになってきています。また、学校においても、多様な文化、生活背景、教育経験をもつ子どもたちが学んでいます。例えば、外国人の子ども、国際結婚の家庭の子ども、生まれたときから日本あるいは海外で育った子ども、帰化した子どもなど、様々な実態をもつ子どもたちがおり、学校の多国籍化・多文化化に対応した取組が求められています。

本研究会では、このような国際化が進んでいく社会を生きる人材を育成するため、児童生徒一人一人に相互理解に基づく多文化共生という視点を持たせ、国家の枠組みを超えた国際社会の一員として自己を確立し、発信を行い、主体的に行動できる態度・能力を身につけさせたいと考え、『世界の中の日本、学び合う国際理解教育』というテーマのもと、本大会を通して研究を深めていくことにしました。

8, 分科会

分科会・テーマ	分科会趣旨	発表者	助言者
1 「国際理解教育の一環としての外国語会話(英語活動)」	<ul style="list-style-type: none"> 外国語を通してのコミュニケーション能力の育成について考える。 小学校における英語活動のあり方について考える。 	(栃木) 小山市立羽川小学校 青木俊英 (埼玉) 川越市立中央小学校 栗田友季子 (神奈川)	鈴木研二様 (戸田市教育委員会)
2 「学校教育を通しての国際理解教育」	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材を活用してコミュニケーション能力の育成について考える。 国際性豊かな子どもの育成について考える。 	(千葉) 船橋市立八木ヶ谷小学校 山下 亮 (茨城)	森川哲治様 (ふじ野市教育委員会)
3 「在外教育施設における国際理解教育」	<ul style="list-style-type: none"> 在外教育施設で行われた教育実践について学び、今求められている国際理解教育のあり方について考える。 現地で活躍する日本人に焦点をあて、共に生きることの大切さについて考える。 	(東京) 国分寺市第五中学校 川口 浩 (群馬) 渋川市立渋川西小学校 小菅達也 (山梨) 山梨大学附属小学校 荻野清彦	斉藤仁様 (全国海外子女教育国際理解教育研究協議会副会長)
4 「各種団体における国際理解教育」	<ul style="list-style-type: none"> 地域と一体になって進める支援活動を通して、連携・融合してすすめるこれからの国際理解教育のあり方について考える。 活動実践を通して、地域の国際教育ネットワークを進める上でのポイントを紹介しながら、これからの国際理解教育で求められることについて考える。 	(埼玉) NGO ネット副代表 山木敦子 JAIC 地球ひろば 国際協力推進委員 佐野明子 (神奈川)	鈴木美香子様 (さいたま市教育委員会)

「私の見た世界・国際理解」

講師 冒険家 神田 道夫 氏 (2000年 植村直己冒険賞授賞)

熱気球は、私にとって生き甲斐です。自分の心に芽生えた「エベレストを飛んでみたい」という夢は膨らんでいきました。途中で終わってしまうかもしれないけれどとにかく夢への階段を一步ずつ登っていこうと、高い目標に向かって進んでいく行為自体が大切なのだと思います。(記事より抜粋)

- 1949年12月 埼玉県川島町に生まれる
- 1983年 2月 熱気球日本初本州横断飛行 飛行距離303km
- 1990年11月 熱気球による世界最高峰エベレスト山越えに挑戦
- 2000年10月 熱気球による西ヒマラヤ最高峰、ナンガ・パルパット山越えに成功
- 2004年 1月 熱気球で太平洋横断 バーナー不調で太平洋に不時着
- 2006年 世界一大きな熱気球で太平洋横断を計画中

受賞暦

- イカロス賞 (日本気球連盟) [1984. 1989. 1995. 1998]
- 航空スポーツ賞 (財団法人日本航空協会) [1984. 1989. 1995. 1998]
- モンゴルフィエ・ディプロマ賞 (国際航空連盟) アジア人初 [1989]
- ポール・ティサンディエ・ディロマ賞 (国際航空連盟) [1998]

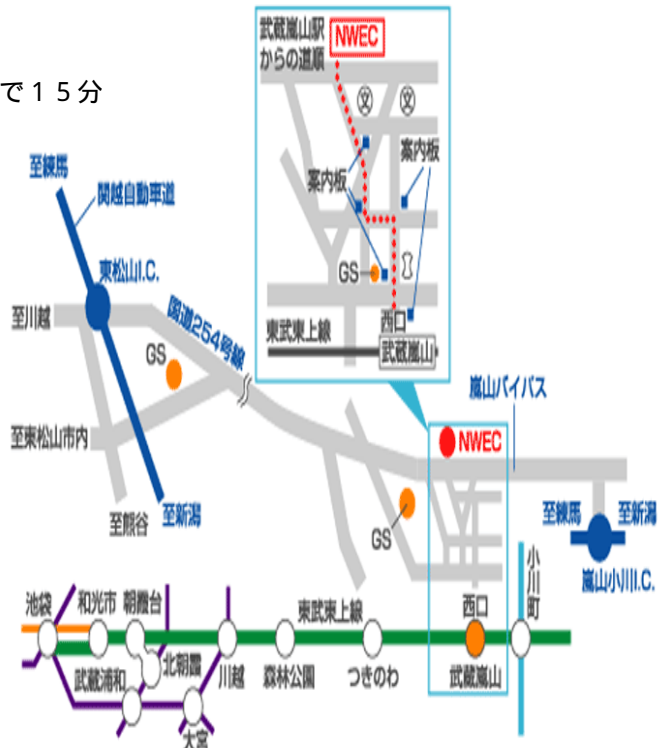
10, 費用 2,000円 (資料代)

11, 交通手段

電車では東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で15分
最寄の駅からタクシー利用で
森林公園駅、小川町駅から15分、
武蔵嵐山駅から5分

武蔵嵐山駅へは
池袋駅から東武東上線急行60分
小川町駅から東武東上線で7分
地下鉄有楽町線の和光市駅から
東武東上線に乗換えができます。

車で、練馬I.C.から関越自動車道で
35分の東松山I.C.から国道254号で15分
嵐山小川I.C.から国道254号で5分



12, 連絡先

事務局 武藤 敦
〒354-0034 富士見市立つるせ台小学校 富士見市上沢3-2-1
電話 049-251-2112 Fax 049-255-9774

〒331-0823 さいたま市北区日進町2-1664 電話&Fax 048-654-9696
E-mail 1228547801@jcom.home.ne.jp

13, その他

又エック内にレストランはありますが、当日混むことが予想されます。弁当を希望される方は、下記の申し込みに希望を記入しお申し込み下さい。代金は当日で結構です。

ご参加の方は、分科会等の人数把握のため、「7回関東ブロック埼玉大会申込書」にて上記までご連絡下さい。ファックスでもEメールでも結構です。

宿泊案内 宿泊を希望される方は、上記の事務局まで7月20日までにご連絡ください。

宿泊代、昼食代

- ・宿泊代 (シングル) 2,200円 (ツイン) 2,000円 ~ 1,600円
- ・昼食費 850円 (飲み物含)

(切 り 取 り 線)

7月20日(木)までにお申し込み下さい。

平成18年度

第17回関東ブロック埼玉大会申込書

所 属 (学校名・団体名)	TEL				
	FAX				
住 所	〒				
E-mail					
職名等	お 名 前	参加分科会	弁当希望	宿泊希望	
		1 2 3 4	有 ・ 無	有 ・ 無	
		1 2 3 4	有 ・ 無	有 ・ 無	
		1 2 3 4	有 ・ 無	有 ・ 無	
		1 2 3 4	有 ・ 無	有 ・ 無	

本申し込みが不足した場合はコピーしてお使い下さい。